

令和4年12月20日

北栄町議会

議長 津川俊仁様

北栄町議会総務教育常任委員会  
委員長 町田貴子

### 総務教育常任委員会調査報告書

本委員会は、次の事件について先進地の調査を終了したので、会議規則第77条の規定により調査結果を次のとおり報告します。

#### 記

#### 1 調査事件

##### (1) 秋田県「横手市増田まんが美術館」

マンガに特化した美術館や記念館を建設した経緯と財源、生涯教育への役割

##### (2) 宮城県仙台市「若林区荒町市民センター」「青葉区中央市民センター」

複合施設となっている公営公民館の建設の経緯と建設財源、運営状況

##### (3) 宮城県石巻市「石ノ森萬画館」

設立の経緯と住民とのかかわり

#### 2 調査期間

令和4年10月25日（火）から27日（木）までの3日間

#### 3 調査結果

##### (1)

##### ア リニューアルの経緯

1995年の建設当時は図書館を併設した複合施設だったが初代名誉館長の漫画家、矢口高雄氏より、マンガ原画の保存と活用に特化した施設、アーカイブ機能を有するまんが美術館とするなら自分の全原画を寄贈するとの提案があった。

2017年から2年間かけて新しい美術館となった。

##### イ 財源

総事業費8億7500万円、県交付金2億円、国地方創生交付金1億

2900万円、他に合併特例債、一般財源。

ウ 取り組み

2015年に指定管理者「一般財団法人横手市増田まんが美術財団」を設立しアーカイブ事業に取り組む。

原画アーカイブで多くの人がコミュニケーションを図り、教育、楽しみ、考察と知識の共有で新しい気づきや学びにつなげていける。

(2) 【若林区荒町市民センター】

- ・建て替え時に児童館との併設。
- ・「仙台市公共施設総合マネジメントプラン」に基づき周辺に存在する公共施設の複合化を計画している。
- ・会議室・研修室・多目的ホール・調理実習室・和室があり児童館、防災センター併設

【青葉区中央市民センター】

- ・会議室・研修室・多目的ホール・調理実習室・和室・音楽室・視聴覚室がある。
- ・施設の優先利用、使用料などは仙台市市民センター管理運営要領による。
- ・市の中心部で交通の便が良いため、若い世代から高齢者まで昼夜を問わず利用率が高い。
- ・国際交流の場としても利用。

(3)

ア 経緯

1995年、石ノ森章太郎先生に当時の市長が「マンガによる町おこしを要請。

1996年、市は「石巻マンガランド基本構想」策定。

2001年、萬画館を運営受託する第三セクター「株式会社街づくりまんぼう」を設立。7月開館。

イ 財源

総工費19億円、一般財源から5億円

ウ 取り組み

生涯教育におけるマンガの役割と重要性について、マンガを様々な学び学習を進める上で、重要なコンテンツと位置付けている。

萬画館を核とした街づくりのため、市街地の賑わいの創出や関係人口・交流人口を増やすことによる地域の活性化などを中心に、事業を進めている。

街づくりまんぼうの取り組みの中で、地域の人材育成を行っている。

#### 4 所感

- (1) 横手市では「マンガ活用構想」が策定され、まんがを市のまちづくりに計画的に活用することとしているので、北栄町も施設の新築移転にあたり、コンセプトを明確にし、目標や方向性をしっかり示すことが重要であると感じた。  
また基本計画や実施計画により、方針や具体的な取り組みが示されている。
- (2) 子どもに地域の文化行事や歴史に触れてもらい、地域に愛着心を育む取り組みが行われている。北栄町でも参考になるのではないか。  
小学校と併設、あるいは隣接する複合施設は利用者にとって安全で便利な取り組みだと感じた。
- (3) 施設は、旧北上川の中州に降り立った宇宙船を想像させる。これだけでもワクワクする。この施設は公設民営で広い館内には多くの作品が展示されていて、石ノ森ワールドを満喫できる。  
女性スタッフはサイボーグ 003 のコスチュームをまとい、皆さんののにこやかな対応が印象的だった。  
地元商業施設とコラボしたキャンペーンなどの多彩な企画や、著作権使用料の削減のため萬画館スタッフがデザインしたグッズも販売されていた。

#### 5 提言

- (1) 本町で複合施設を考える場合、何と何を複合化させることが町民のためになるのか今後のまちづくりプランとあわせて検討が必要である。
- (2) 安心安全のためにも大栄の放課後児童クラブは小学校の近くが良いのではないか。
- (3) 「青山剛昌ふるさと館」へ多くの人に来ていただくには、子どもたちの作品を募集するなど、様々なアイデア、工夫や相当の努力が必要である。

令和4年度北栄町議会 委員会行政調査報告書

1	期 間	令和4年10月25日～27日 3日間	
2	調 査 地	秋田県 横手市 宮城県 仙台市、石巻市	
3	調 査 内 容	( 内 容 )	( 場 所 )
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全面リニューアルの経緯、建設財源経営状況、住民との関わり、マンガの役割と重要性</li> <li>・複合施設となっている公営公民館の建設の経緯と建設財源、運営状況について</li> <li>・住民との関わり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田県横手市 増田まんが美術館</li> <li>・宮城県仙台市「若林区荒町市民センター」「青葉区中央市民センター」</li> <li>・宮城県石巻市「石ノ森萬画館」</li> </ul>
4	概要及び調査結果	<p><b>【横手市増田まんが美術館】</b>                  ＊リニューアルの経緯—初代名誉館長の矢口氏より、マンガ原画の保存と活用に特化した施設、アーカイブ機能を有するまんが美術館とするなら自分の全原画を寄贈するとの提案があり、大規模改修に至った。</p> <p>＊財源—秋田県、地方創生拠点整備事業、合併特例債などにより総事業費は8億7500万。</p> <p>＊取組み—「一般財団法人横手市増田まんが美術財団」を設立しさまざまなジャンルの作家から原画の提供があった。原画アーカイブで多くの人がコミュニケーションを図り、教育、楽しみ、考察と知識の共有で新しい気づきや学びにつなげていくことができる。                  「横手市マンガ活用構想」を策定し、まちづくりに計画的に活用していく。</p> <p><b>【若林区荒町市民センター】</b>                  ＊建て替え時に児童館との併設。</p>	

		<p>*「仙台市公共施設総合マネジメントプラン」に基づき周辺に存在する公共施設の複合化を計画している。</p> <p>*会議室・研修室・多目的ホール・調理実習室・和室がある児童館、防災センター併設。</p> <p><b>【青葉区中央市民センター】</b></p> <p>*会議室・研修室・多目的ホール・調理実習室・和室・音楽・視聴覚室がある</p> <p>*施設の優先利用、使用料などは「仙台市市民センター管理運営要領」による。</p> <p>*市の中心部で交通の便が良いため、若い世代から高齢者まで昼夜を問わず利用率が高い。</p> <p>*国際交流の場としても利用</p> <p><b>【石ノ森萬画館】</b></p> <p>*経緯一石ノ森先生と市長との会談で石巻に中心市街地活性化の起爆剤としてマンガミュージアムの建設構想ができた。</p> <p>*生涯教育におけるマンガの役割と重要性一様々な学び学習を進める上では、重要なコンテンツと位置付けている。</p>
5	所 感	<p>「増田まんが美術館」は文化施設として運営し、日本のマンガ文化の保存・継承をマンガ原画の保存・活用の観点で実践していくことにこだわっている。</p> <p>国内の 100 名を超える漫画家の原画收藏し、「マンガ文化展示室」「マンガの蔵展示室」他「マンガライブラリー」などで幅広い年代にマンガの魅力を発信している。</p> <p>地域と連携した賑わい・経済波及効果の創出と子どもの教育と学びの提供で地域の人たちにとって誇りと愛着のもてる施設を目指した事業を搭載している。</p> <p>矢口氏の原画の提供、美術館への発想の転換、スケールの大きさに驚いた。</p> <p><b>「市民センター」</b></p> <p>生涯学習支援センターが統括  中学校区ごとに設置されている。(60 館)  市役所指定管理 (仙台ひと・まち交流財団法人で管理)  児童センター、文化センター、防災センターなどを併設されている。コミュニティの推進及び振興を図るため、さまざまな事業が行われている。交通の便もよく多くの利用者があるが、施設使用は予約制でそれぞれ目的ごとに集まるが、同じ建物でも他の部屋に入れるわけではない。使用料、減免などの規則があ</p>

		<p>り、各団体は登録制になっている。など施設利用が複雑だと感じた。</p> <p>「石ノ森萬画館」</p> <p>まず建物が大きくユニークで目立つ宇宙船。あえてバスから降りて歩かせるという方法は景観、ブロンズ像を見たり話題が話せる時間を創る意図があるのではないか。</p> <p>マンガ＝萬画（＝万物のものを表現できるもの。無限の可能性を秘めるもの）の考え方を中核として、様々な事業・イベント、人材育成を進めている。今後もマンガの役割が大きくウエイトを占めてくる。とあるのは生涯教育におけるマンガの役割と重要性が表れている。</p> <p>公設民営（街づくりまんぼう）で広い館内には多くの作品が展示されていて、スタッフも一体となってにこやかな対応だったここもスケールが大きすぎて北栄町にも…という訳にはいかないがコンセプトを明確にし、先を見据えて取り組むべき。地域を巻き込む方法を考える。</p>
--	--	---

提出〆切 令和4年11月11日（金）

北栄町議会議長 津川俊仁様

北栄町議会 総務教育常任委員会副委員長 奥田 伸行

### 令和4年度北栄町議会 委員会行政調査報告書

1	期 間	令和4年10月25日～27日 3日間	
2	調 査 地	秋田県 横手市 宮城県 仙台市、石巻市	
3	調査内容	( 内 容 )	( 場 所 )
		複合施設となっている公営公民館の建設の経緯と建設財源、運営状況について	・秋田県横手市 増田まんが美術館 ・宮城県仙台市「若林区荒町市民センター」 「青葉区中央市民センター」 ・宮城県石巻市「石ノ森萬画館」
4	概要及び調査結果	<p>「増田まんが美術館」「石ノ森萬画館」 まんが原画 45 万枚収納、全国では 5000 万枚ある。 数字や価値で計ることは出来ない、まんがで場所が提供できるということは、文化を守ることに繋がる。 青山剛昌ふるさと館も、地元で愛される施設にするため、地元と一緒にやるべきである。楽しんでもらえる施設にすること。 不便でも来てもらえる美術館を作ること。 まんがそのものが学習教材、探究心、好奇心を磨く、結論よりもゆっくりと自分と向き合える場所。 リピーター、家族連れが多い。</p> <p>「若林区荒町市民センター」「青葉区中央市民センター」 地域の理解があつての施設にすることで、メリットをいかにして活かすことが大切。 部屋は使用目的が限定されずに利用出来ること。 予約は三ヶ月先まで予約可能。 メリットとして小学校（東二番丁小学校）との連携が強みで、地域を盛り上げることが出来る。 デメリットは他の小学校との連携が取りにくい。</p>	

5	所 感	<p>「増田まんが美術館」「石ノ森萬画館」 コナンだけに特化せず他のまんがも置き、施設の中を分けて 入場券も別にする方法もあるのではないかと感じた。 鳥取県の魅力の施設の一つとして、県にも支援をお願いすべき と思った。</p> <p>「若林区荒町市民センター」「青葉区中央市民センター」 住民と連携して施設の強みを活かすことが大切だと思った。 放課後児童クラブのことを考えると安全面では小学校から近い ところが良いと思った。 立地条件を考えても参考に来るところもあった、時間は限ら れてると思うが、町民の皆さまと情報共有しながら、北栄町に 合った施設にすべきと思った。</p>
---	-----	--

提出〆切 令和4年11月11日(金)

令和4年度北栄町議会 委員会行政調査報告書

1	期 間	令和4年10月25日～27日 3日間	
2	調 査 地	秋田県 横手市 宮城県 仙台市、石巻市	
3	調査内容	( 内 容 )	( 場 所 )
		複合施設となっている公営公民館の建設の経緯と建設財源、運営状況について	・秋田県横手市 増田まんが美術館 ・宮城県仙台市「若林区荒町市民センター」 「青葉区中央市民センター」 ・宮城県石巻市「石ノ森萬画館」
4	概要及び調査結果	<p>・横手市 増田まんが美術館 観光施設ではなく文化施設であるということでコンセプトの違いがある。リニューアルにより、それまで共存していた部署、施設が別の場所へ移っている（おそらく賛否両方の市民感情があるはず）。また、常設展示ではないものに関しては建物内のホールを使用しているが、その部分は増田まんが美術館の専用ではなく、他者の利用も可能となっている。入館料無料というのもコンセプトの違いによるものなので、参考にはなるが真似はできない。</p> <p>・仙台市 市民センター 複合施設のメリットとして、どのような施設があるのかを知ってもらうのには役立つ。確かに、興味関心のない施設には行くこともないし知ることができないが、複合施設であれば知ることができる。ただ、複合施設だからといって連携が進むかといえばそうではなく、連携のための仕掛け、仕組みは積極的に作っていかなければならない。この部分は施設を作ればよいという考えを捨てなければならないという意味で、非常に大切。活用は人材、アイデアにかかっている。 一般道に出ることなく児童館に行くことができるのはとても魅力的である。</p>	

4	概要及び調査結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石巻市 石ノ森漫画館</li> </ul> <p>スタッフがかなりの漫画好きである。スタッフのコスチュームもとても良い。ホテルの中にも漫画の展示があり、道端にもブロンズ像が点在しており、エリアをあげて取り組んでいる様子がうかがえる。指定管理を行っている会社の指針の中に「人材育成」があり、まちづくりに生かされている。オリジナルグッズのデザイン等も手掛け、人材の育成だけでなく有効活用にもなっている。</p>
5	所 感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しっかりとしたコンセプトをもって取り組むことが大切。コンセプトが揺らぐようでは切られた財源を有効に活用することができない。「名探偵コナン」という漫画をテーマに据えるのか、「青山剛昌」という人をテーマに据えるのか、「マンガ」という文化をテーマに据えるのか、改めて考えてみる必要があるのではないか。名探偵コナンが完結した後どうするのか、青山剛昌さんの作品が更新されなくなったあとどうするのか、日本の文化に対してどのようなスタンスを取るのか、コンセプトを明確にする必要があると強く感じた。</li> <li>・小学校との併設、あるいは隣接の複合施設を見たが、市街地にあるからこそできるのだろうと感じた。連携もよく良い取り組みだと思った。北栄町で複合施設を考える場合、何と何を複合化させることが町民のためになるのか、今後のまちづくりのプランと合わせて検討が必要であると感じた。</li> </ul>

提出〆切 令和4年11月11日(金)

令和4年度北栄町議会 委員会行政調査報告書

1	期 間	令和4年10月25日～27日 3日間	
2	調 査 地	秋田県 横手市 宮城県 仙台市、石巻市	
3	調 査 内 容	( 内 容 )	( 場 所 )
		複合施設となっている公営公民館の建設の経緯と建設財源、運営状況について	・秋田県横手市 増田まんが美術館 ・宮城県仙台市「若林区荒町市民センター」 「青葉区中央市民センター」 ・宮城県石巻市「石ノ森萬画館」
4	概要及び調査結果	<p>※市町村未来づくり協働プログラム横手市プロジェクト事業で増田まんが美術館ができ、新しくマンガの原画の酸性化を防ぐ保存作業が行われており、ガラス越しにそれらを見ることが出来る。</p> <p>※若林区荒町市民センター、青葉区中央市民センターとも児童館、防災センター等と併設をしている。</p> <p>※石ノ森萬画館は宇宙船みたいな、斬新なデザインですてきでした。</p>	
5	所 感	<p>※ 増田まんが美術館は原画がガラス越しに見られるタブレット様な機械がありとても管理に役立っている。</p> <p>館内には、マンガカフェがあり大人も楽しめる施設でした。</p> <p>※ 若林区荒町市民センター、青葉区中央市民センターも児童館と併設しており、色々な会議室、音楽室は防音室になっていました。カラオケ室、ダンス室、等沢山の部屋があり、沢山の利用者があるようでした。</p> <p>※ 石ノ森萬画館は印象に残る建物で素晴らしかったです。</p> <p>受付嬢は同じユニホームで素晴らしかったです。</p> <p>館内には色々工夫されていました、例えば床にマンホールの蓋上で止まると仮面ライダーのきめ言葉が流れる装置など沢山の楽しみがあり、とても楽しい施設でした。</p>	

令和4年度北栄町議会 委員会行政調査報告書

1	期 間	令和4年10月25日～27日 3日間	
2	調 査 地	秋田県…横手市 宮城県…仙台市・石巻市	
3	調査内容	( 内 容 )	( 場 所 )
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンガに特化した美術館や記念館を建築した経緯と財源、生涯学習への役割</li> <li>・複合施設となっている公営公民館の建設の経緯と建設財源、運営状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田県横手市「横手市増田まんが美術館」</li> <li>・宮城県仙台市「若林区荒町市民センター」 「青葉区中央市民センター」</li> <li>・宮城県石巻市「石ノ森萬画館」</li> </ul>
4	概要及び調査結果	<p><b>【横手市増田まんが美術館】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1995年の建設当時は公民館、図書館を併設した複合施設「増田ふれあいプラザ」だったが、初代名誉館長の漫画家矢口高雄氏が「ここを日本のマンガ原画保存の核となる施設にし、アーカイブ機能を有するまんが美術館とするなら自分の原画を全て市に寄付する。」と提案。</li> <li>・2015年に指定管理者である「一般財団法人横手市増田まんが美術財団」を設立し、アーカイブ事業に取り組む。</li> <li>・2017年から県の主要事業として改修され、2019年5月新しいまんが美術館となる。</li> </ul> <p>マンガ文化の発展・継承に貢献することを目的に原画の収蔵とアーカイブ化に取り組み、原画の劣化と散逸を防ぎ適正な保管で原画収蔵数世界一の「マンガの聖地」を目指す。</p> <p>総事業費8億7500万円。県交付金2億円、国地方創生交付金1億2900万円、他に合併特例債、一般財源。指定管理料年間9000万円。料金収入2000万円。</p> <p>▶マンガを「生涯学習において、多くの原画を感じるままに見る</p>	

	<p>ことにより、年齢・性別・国籍を問わず、ゆっくり考え、思考力を育て探求心、好奇心を磨くことのできる大切な人生の学習教材」と位置付ける。</p> <p>▶生涯学習の「いつでも自由に学習機会を選択できる」という環境をマンガで提供し、事業を展開している。</p> <p>▶小学校 4 年生から中学生が描いたマンガをコミックにして市内に配布。初年度は 250 ページから 3 年目は 700 ページへ。マンガ制作の過程で「創造力」と「表現力」を育み、子どもたちは編集者に講評してもらうことで成功体験を重ね、自己肯定感を得る。</p> <p><b>【石ノ森萬画館】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1995 年、当時の石巻市長が石ノ森章太郎氏に「マンガによる町おこし」の協力を要請。</li> <li>・1996 年、市は「石巻マンガランド基本構想」を策定。</li> <li>・2001 年、萬画館を運営受託する第三セクター「株式会社街づくりまんぼう」を設立。7 月開館。総工費 19 億円、一般財源から 5 億円。</li> <li>・2010 年 11 月、来館者 200 万人突破。</li> </ul> <p>・昨年度、指定管理料は 7100 万円（基本は年間 6000 万円）。入場料収入は 3600 万円、グッズ売上は 6000 万円（260 種のオリジナル商品）、喫茶部門は 800 万円。</p> <p>・萬画館は公設民営。市内の行政施設では一番の収益率。支出の 5 割以上を収入で賄う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グッズ販売額の著作権料 5%を萬画館が負担。</li> <li>・来館者の割合は県内 6 割、東北 1 割、関東 2 割、その他 1 割。</li> </ul> <p>▶マンガは生涯において様々な学びの学習を進める上で、重要なコンテンツと位置付ける。</p> <p>▶この運営会社は萬画館を核として街づくりのため…</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や地域住民など広く多くの人とマンガ的発想を生かした人材育成。</li> <li>・石巻市街地の賑わいの創出。</li> <li>・関係人口や交流人口を増やし地域経済の活性化</li> </ul> <p style="text-align: right;">…などを中心に事業を進めている。</p> <p><b>【複合施設となっている公設公民館】</b></p> <p>○若林区荒町市民センター</p>
--	---

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・財源の明示された資料はない。</li> <li>・児童館を併設する「荒町市民センター」は荒町小学校に隣接。市の中央部に位置するため市内全域からの多くの市民に利用され、夜間も仕事帰りの活動の場として幅広い年齢層が利用。</li> </ul> <p>○青葉区中央市民センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の中央部のため世代や時間帯を問わず利用率は高い。</li> <li>・外国人居住者も多く仙台市の日本語講座が行われ、国際交流の場として利用されている。</li> </ul> <p>▶公共施設の延床面積削減計画は「仙台市公共施設総合マネジメントプラン」に基づき複合化を計画し、複合後の新施設の総面積が以前の合計面積より 1 m<sup>2</sup>でも減少すれば「公共施設等適正管理推進事業債」（充当率 90%、交付税措置率 50%）を活用。</p> <p>▶防災センターは地域住民の防災活動の拠点として、仙台市地域防災計画に基づき各小学校区の市民センターやコミュニティ・センターに設置。児童館は市民センター建て替えに伴い併設が検討されたもの。</p>

5	所 感	<p><b>【横手市増田まんが美術館・石ノ森萬画館】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両方とも展示館の外観に目を奪われる。横手は広々とした畑の中にドカンと大きな、まさに外観はヨーロッパでも通用する建物。石巻は旧北上川の中州に異様な宇宙船。これだけでワクワクしてくる。延床面積は横手 3363 m<sup>2</sup>、石巻 1979 m<sup>2</sup>。現在の「青山剛昌ふるさと館」は 891 m<sup>2</sup>（再整備基本構想では 3000 m<sup>2</sup>）。</li> <li>・横手は矢口高雄氏の「原画保存で世界一のマンガの聖地を目指す」という強い意志によって実現し、拡大された原画で三平の竿先や水しぶき、魚の鱗までクッキリ。他にも過去必死で読んだマンガたちが懐かしい。</li> <li>・石巻はヒーローが現れる石ノ森ワールドを十分に満喫できる。なんと受付や館内の女性スタッフはみんなサイボーグ 003。</li> <li>・共通するのは地元出身の著名な漫画家の地元への熱い思いと行政の本気度が、いわゆる「マンガによる町おこし」を具現化できた成功例ではないか。</li> <li>・横手は事業費を市からの指定管理料 9000 万円で大半を賄い、石巻は指定管理料 7100 万円（令和 3 年度）で管理運営を、行政からの出向が一切ない第三セクターの「株式会社街づくりまんぼう」が担う。</li> <li>・入場料は横手が企画展を除き無料、石巻は大人 900 円、中高生 600 円、小学生 250 円。横手の無料はうれしいがもったいないのでは。石巻は十分に納得価格。</li> <li>・コロナに翻弄され入場者は落ち込んだが、現在は両方とも地元圏域の入館者が主で横手はコロナ以降県内の修学旅行が伸び、石巻は県内が 6 割、その内 8 割が仙台圏域である。リピーターが減。</li> <li>・視察時間は両方とも 90 分では不足。最低 120 分は欲しい。</li> <li>・本町の場合は著作権元の意向など種々の課題が予想されるが、移転新築するならマンガに特化した施設としてインパクトのある外観と十分な延床面積の建物、「名探偵コナン」のオンリーワンの存在感をアピールできる関係者の能力と熱意、さらに多種の工夫されたキャラクターグッズの開発は不可欠。喫茶コーナーも欲しい。</li> <li>・本町は全国からの熱心なファンやインバウンドも見込めるが、やはり地元圏域の来館者は大切であると感じた。</li> <li>・原画のアーカイブ化を可能にし、広い世代がリピーターとして来館できる生涯教育の場としての工夫を期待したい。デジタ</li> </ul>
---	-----	--

	<p>ルアーカイブには総務省のデジタルコンテンツ制作に対する特別交付税もある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度当初予算の再整備基本計画策定委託料でさえ 3000 万円超である。将来先細ると予想される町財政の中で実現までは巨額の予算が必要になり、完成後の施設の維持管理費も懸念される。しかし作るのなら半端なものではなく、世界の「名探偵コナン」にふさわしい建物が求められる。文化庁が中心となって「クールジャパン」のため世界にマンガを発信している。国からの交付税措置に期待したい。</li> </ul> <p><b>【複合施設となっている公営公民館】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館は小学校と隣接していて、移動距離が短く保護者にも安心。</li> <li>・防災センターは市の中心部に位置することもあり、密集した民家や商業施設の災害等に極めて短時間で対応が可能。備蓄品も充実。</li> <li>・建物は交通のアクセスがよく、多くの市民を受け入れるキャパシティもあり、利用者の細かい要求に応える工夫や、住民の多様性を幅広く柔軟性をもって受け入れている様子が理解できる。</li> <li>・公共施設の延床面積の削減計画は、本町のように具体的な目標を打ち出していない。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本町も幅広い年齢層の多様な町民が気軽に利用できるように、目的に応じて一般的なことから専門的なことまで柔軟に使用できる機能を備えた施設の再整備を望む。</li> <li>・放課後児童クラブが入るのなら、学校の近くがよい。</li> </ul>
--	--

提出〆切 令和4年11月11日(金)

北栄町議会議長 津川俊仁 様

北栄町議会 総務教育常任委員会委員 齊尾 智弘

令和4年度北栄町議会 委員会行政調査報告書

1	期 間	令和4年10月25日～27日 3日間	
2	調 査 地	秋田県 横手市 宮城県 仙台市、石巻市	
3	調 査 内 容	( 内 容 )	( 場 所 )
		リニューアルの経緯、建設財源、経営状況、住人との関わりについて 複合施設となっている公営公民館の建設の経緯と建設財源、運営状況について	・秋田県横手市 増田まんが美術館 ・宮城県仙台市「若林区荒町市民センター」「青葉区中央市民センター」 ・宮城県石巻市「石ノ森萬画館」
4	概要及び調査結果	<p>横手市増田まんが美術館 総事業費8億7500万円の内分は県交付金が2億円、地方創生拠点整備交付金1億2900万円、他に合併特例債、一般財源で改修した。 1995年公民館、図書館、郷土資料館、まんが美術館を合わせた複合施設として開館した。年月が経ち改修にあたり今後のコンセプトが問題となった。そのとき同市出身の矢口高雄氏より「世界中のマンガの聖地となるよう、日本のマンガ原画保存の核となる施設にしてほしい。自分の全原画を横手市に寄贈する」と提案があり、同館を複合施設からマンガ原画の保存と活用に特化した施設へと大規模改修が始まった。2019年に現在のまんが美術館としてリニューアルした。2015年に一般財団法人横手市まんが美術財団を設立し指定管理者としている。指定管理料は9000万円、料金収入と合わせて1億1000万円の収入となる。収蔵数は45万枚であり、6億円の経済効果を見込んでいる。日本初の原画を保存収蔵しアーカイブ化する美術館となった。入館料は無料だが企画展(有料)を多く開催し入場料収入を得ている。館内にはグッズの売店も備えている。</p> <p>仙台市若林区荒町市民センター 昭和47年に旧斉藤記念館を前面改築し、荒町市民福祉会館として昭和48年5月に開館し、昭和58年4月に荒町市民センターと名称を変更した。平成22年施設の老朽化と機能充実の必要性から現在の建物に建替えた。児童館との併設は、建替え時に併設された。総工費は4億7200万円だが財源は不明。年間利用者は5万人強で推移していたがコロナの影響で3万から4万人に落ち込んだ。</p>	

青葉区中央市民センター

昭和40年4月仙台市市民教養センターとして開設、昭和63年1月に仙台市中央公民館一番町分館として開館した。平成13年4月近接の勤労青少年ホームを統合し、青葉区中央市民センターとしてスタートした。市の中心部にあるため、若い世代から高齢者まで昼夜を問わず利用者が多い。日本語講座が継続的に行われていることから外国人の参加も多い。敷地内に小学校があり地域との交流事業を市民センターが企画している。

仙台市の市民センターは60館あり中学校区に一つの割合で設置されていて、地区拠点の機能をもっている。そのうちの一つ生涯学習センターはすべての市民センターを統括し、五つの中央市民センターが区域内の市民センターを支援する仕組みとなっている。公民館事業を指定管理者の公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団が請け負っている。市民センターの利用料は料金設定がしてあるが、社会教育活動及びコミュニティ活動のための利用は減免規定がある。

宮城県石巻市石ノ森漫画館

まんがを活かした街づくりを目指した。建設費19億円でその内5億円は一般財源。ライセンス料は5%である。石森プロに監修を受けている。年間18万人位の来場者があったが、コロナで約半分になった。(60%が県内、85%が仙台市内)人口10万人の市で第一次産業中心ある。

5	所 感	<p>横手市増田美術館 まんが原画の収蔵とアーカイブ化に取り組む他に類をみない施設である。すごい取り組みであるが、一度だけでなく、何度も訪れることで理解できるだろうし、歴史に判断を委ねる施設であると思う。矢口高雄先生からすべての原画の提供の申し出がなければ始まらなかったと思う。国内外179名の漫画家の原画の展示保存も、協力関係が構築されているからできることであり、素晴らしい取り組みである。地域の子どもの作品を1冊のマガジンにして発行する取り組みはおおいに参考となる。北栄町も取り入れたい。議会の理解に時間を費やしたと伺ったがその努力に敬意を称したい。</p> <p>仙台市市民センター 60施設ありすべてが地区市民センターの役割を果たしている。北栄町で例えると町の公民館の役割である。利用率も高く活発に事業が行われていて推進力は、指定管理者の（公財）仙台ひと・まち交流財団である。 この財団は様々な事業、活動の支援等サービスを行っていて、児童館、児童センター81カ所の運営もおこなっている。様々な事業展開も当財団の努力であり、このような指定管理者を育てる視点も必要だと思う。敷地内にある小学校と地域商店街との交流事業は地域を知ってもらおう取り組みとなり大切である。 複合施設となっていていつも様々な団体が活動している。中には自前のカラオケ機材をもちこみ、定期的にカラオケを楽しむグループもある。自由度があり市民に親しまれている様子が伺える。</p> <p>石ノ森漫画館 施設が中州に有り外観から宇宙船が着陸したと想像させ、入館前からわくわくさせる楽しい施設である。中に入るとサイボーグ003が出迎えてくれる。（受付嬢）館内はスロープ状の壁展示となっていて、順路を示す必要もなくサイボーグ009、仮面ライダー、ロボコンの展示など飽きさせない。写真撮影も許可されていて、ネット等で拡散すれば宣伝になるとのことだった。11年前の東北大震災では、1階部分が浸水したと伺ったがきれいに復旧していた。石ノ巻は何も無い所なのでマンガで街おこしをしたいと言う熱い思いがあったそうだ。熱い思いの者は何処でも必要だ。議会の説得も時間が相当かかったという。石ノ巻マンガロードがありヒーローやキャラクターが設置されていた。時間がなくバスの車窓からの見学となったが歩いてみたかった。数年後どの位発展しているのか期待したい。青山剛昌先生がご健在なのがうらやましいとの言葉が感慨深い。</p>
---	-----	---

北栄町議会議長 津川俊仁様

北栄町議会 総務教育常任委員会委員 長谷川昭二

### 令和4年度北栄町議会総務教育常任委員会行政調査報告書

1	期 間	令和4年10月25日～27日 3日間	
2	調 査 地	秋田県 横手市 宮城県 仙台市、石巻市	
3	調 査 内 容	( 内 容 )	( 場 所 )
		複合施設となっている公営公民館の建設の経緯と建設財源、運営状況について	・秋田県横手市 増田まんが美術館 ・宮城県仙台市「若林区荒町市民センター」 「青葉区中央市民センター」 ・宮城県石巻市「石ノ森萬画館」
4	概要及び調査結果	<b>増田まんが美術館について</b>  まんが美術館は、開館当初は、公民館、図書館、郷土資料館を併設する複合施設だった。 1995年、旧増田町の町政100周年記念事業として同町出身の「釣りキチ三平」などで知られる矢口高雄氏の記念館として建設の話があった。しかし、矢口氏は「これから漫画を目指したいという子どもたちにとって、本物を見せることが一番の勉強になる」と提案し、多くの漫画家の原画を一堂に展示する美術館が完成。「マンガ」をテーマにした全国初の美術館として誕生し、矢口氏はその初代名誉館長として晩年に至るまでまんが美術館の運営と日本のマンガ文化の未来に貢献した。 また、矢口氏から、「世界中のマンガの聖地となるよう、日本のマンガ原画保存の核となる施設にしてほしい。いま海外でマンガの価値が高まっている一方で、かつての浮世絵のように海外へ流出してしまう心配がある。そうなる前にしっかりと保護しなければならない。そのアーカイブ機能を有するまんが美術館とするならば、自分の原画を全て寄贈する」との提案があり、同館を複合施設からマンガ原画の保存と活用に特化した施設へと大規模改修が行われた。 2017年から2年かけ、秋田県と協同のプロジェクトにより、	

4	概要及び調査結果	<p>大規模なリニューアルがおこなわれた。その総事業費は約 875,000 千円、財源は秋田県未来づくり交付金 200,000 千円と地方創生拠点整備交付金 129,000 千円ほか合併特例債、一般財源により新しく生まれ変わった。</p> <p>入館者数の推移は、6 万人あたりで推移していたが、大規模改修後は 14 万人まで伸びたが、コロナ禍で 2021 年は 8 万 7 千人となっている。その内、有料入場者（企画展以外の入館は無料）は 2 万 6 千人。</p> <p>事業費は、指定管理料約 90,000 千円で、料金収入合わせて約 110,000 千円で運営されている。</p> <p><b>宮城県仙台市</b>  <b>「若林区荒町市民センター」について</b></p> <p>当市民センターが所在する荒町地区は、仙台市のほぼ中心部で、地下鉄の駅から徒歩 5 分、仙台駅から 20 分と交通の便に恵まれ地域の方を始め市内全域から多くの市民に利用されている。日中はもとより、夜間も仕事帰りの活動の場として、幅広い年齢層に活用されている。</p> <p>特色ある事業としては、震災を踏まえた「<b>荒町</b>」を<b>楽しく安全に暮らそう！親子で作る MAP 作り講座</b>があり、安全に生活・登下校するために親子で地域を歩いて防犯 MAP を作成する。実際に歩くことにより親子で気付きを共有し、完成した MAP は地域に還元することで今後の防犯につなげることを目指すねらいがある。</p> <p>その概要と成果は、MAP の作成にあたり、防犯のプロから注意が必要なポイントについて事前に講話を受けたこと。子どもが登下校時に事件に巻き込まれたり、交通事故に遭う危険が多い昨今、事前に学習したポイントを踏まえて実際に通学路を注意深く見ながら歩き、親の目線、子どもの目線といったいつもとは違った視点で確認をした情報を互いに共有することができたこと。参加者自身が歩いて調査をしたことをもとに、協力して MAP を作成したことにより、日頃の安全に対する意識の向上に繋がったこと。</p> <p>完成した防犯 MAP は、商店街等を歩いて調査する上で協力いただいた方々の店先に貼ってもらい、地域の人たちにも見ていただくことができたため、参加者の達成感にも繋がったとのこと。</p> <p>その他、主な事業は「子供会インリーダー研修会」、「あらま</p>
---	----------	---

4	概要及び調査結果	<p>ち町民大学シルバーセミナー」、「伝統の仙台七夕飾りをつくろう」など研修会や伝統関連、地域住民の交流など様々な事業が取り組まれている。</p> <p><b>「青葉区中央市民センター」について</b></p> <p>青葉区中央市民センターも、市の中心部で交通の便がよいため、若い世代から高齢者まで昼夜を問わず利用率が高い。また、仙台市の地日本語講座が継続的に行われていることから来館する外国人も多く、国際交流の場としても一翼を担っている。</p> <p>特色ある事業は、「子ども参画型社会創造支援事業 東二小やる気キッズ」で、そのねらいは、当市民センター隣接の東二番丁小学校がオフィスビルや商業施設に囲まれた中に立地しており、児童が地域の人々と関わる機会が乏しい現状がある。そこで市民センターが児童自身の興味関心を形にできる機会や、行事に参加し人々と交流する場を作ることで自分の住む地域への理解を深め、児童の健やかな成長につなげることである。</p> <p>その概要と成果は、東二番丁小学校の児童が企画員となり、企画員自身が興味のあることで、かつ地域の方や子どもたちに楽しんでもらえる行事として「おばけやしき&amp;スポーツゲーム」を企画開催した。令和2年度に企画員として参加した児童が中心となり話し合いを進めたことで、経験を活かした準備や行事運営を行うことができたとのこと。</p> <p>また、本番当日はジュニアリーダーのサポートもあり、小中高生がひとつになって行事に取り組むことができたこと。児童が協力して企画運営を行い来場者に楽しんでもらえたことで、やりがいや達成感を感じ、主体的な行動力や探究心を育むことへつながったこと。ふりかえりの時間では、互いに気づきや学びを共有するだけでなく、令和4年度へ向けての改善点やアイデアも寄せられ、次への活動につなげる機会となったとのこと。</p> <p>その他にも、「子育てサロン バンダくらぶ」という1歳から3歳までの親子を対象にした運動を実施し、発達発育相談や親子同士の情報交換の機会を提供するものや、「小学生の防災減災講座」では、東二番丁小学校4年生が、いざという時に自分の身を守ることができるように、通学路の危険箇所や非常用持ち出し袋について学び、災害に対する意識を高めるものなど、子どもから、「青葉カレッジ」という高齢者を対象にした学習の機会を提供するなど、幅広い年齢層を対象とした事業に取り組んでいる。</p>
---	----------	--

<p>4</p>	<p>概要及び調査結果</p>	<p><b>宮城県石巻市「石ノ森萬画館」について</b></p> <p>宮城県登米市中田町出身の石ノ森先生と石巻とのつながりは、1995年7月に当時の石巻市長との対談から始まった。対談の中で、シャッター街となった石巻の中心市街地のにぎわいをもたらす、様々な情報を発信していく事を目的として、石ノ森先生とゆかりのある「中瀬」にマンガミュージアムを建設する話が持ち上がり、それをもとに石ノ森萬画館を建設する構想「マンガランド構想」が生まれたとのこと。</p> <p>石ノ森萬画館は、北上川河口に浮かぶ中瀬にある。中瀬を空から見た地形がN.Y.州マンハッタンに似ていることから”マンガッタン”と名付けられたとのこと。3階立ての漫画館には、石ノ森章太郎の代表作のサイボーグ009とか、歴代仮面ライダーの仮面が全て展示されていて、そのほかにも数多くのキャラクターの展示がされている。</p> <p>マンガのもつ特性である創造性、メディア性、そして国際性などを通して、豊かな感性、創造力を育む場となることを基本目的とし、また市民が集い、交流できる「マンガで結ばれる街ステーション」施設としての役割も担っている。さらにマンガ文化・地域（日本）文化の発信基地として世界を鑑みた交流拠点をめざしている。施設は、「交流」「展示」「普及」/「育成」「収集」/「保存」「調査」/「研究」「サービス」から構成されている。</p> <p>石ノ森章太郎の創作理念であった”マンガの表現媒体としての可能性を表した「萬画宣言」の考え方を積極的に取り込み、来訪者に夢や楽しさを感じてもらえるよう「アミューズメント性」と「動き」のある展示、常設展示の他に企画展示室、オリジナルアニメシアター等の他、アニメの創作が実体験できるマルチメディア工房が整備され、その他館内外でのイベント、ワークショップ等が行われている。</p>
----------	-----------------	---

5	所 感	<p>横手市では「マンガ活用構想」が策定され、まんがを横手市のまちづくりに計画的に活用していくこととしている。併せて、「基本計画」、「実施計画」があり、方針や具体的取り組みが示されている。</p> <p>その中には、「地域に求められ、支えられる美術館をめざして」いくことが掲げられている。こうした目標や方向性を示すことは重要である。</p> <p>仙台市の市民センターで、子どもに地域の文化行事、歴史に触れてもらい地域への愛着心を育む取り組みが行われていることは、北栄町でも参考になる。</p> <p>また、「児童館との併設の利点として、市民の認知度は上がるが、何もしないで相乗効果があるということではない」ということであり、充実した取り組みが必要である。</p> <p>石ノ森萬画館では、手作りのマンガグッズが作れるマンガタワークションショップとか、キャラクターの誕生会、ひなまつりやクリスマスなど季節の行事にちなんだイベントが年間を通じて開催されている。また、地元商業施設とコラボしたキャンペーンなど、多彩な企画や著作権使用料が削減できるため、萬画館スタッフがデザインしたグッズも売られている。こうした様々な工夫は「萬画館」の魅力作りにつながっていると感じた。</p>
---	-----	--

令和4年度北栄町議会 委員会行政調査報告書

1	期 間	令和4年10月25日～27日 3日間	
2	調 査 地	秋田県 横手市 宮城県 仙台市、石巻市	
3	調 査 内 容	( 内 容 )	( 場 所 )
		複合施設となっている公営公民館の建設の経緯と建設財源、運営状況について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田県横手市 増田まんが美術館</li> <li>・宮城県仙台市「若林区荒町市民センター」「青葉区中央市民センター」</li> <li>・宮城県石巻市「石ノ森萬画館」</li> </ul>
4	概要及び調査結果	<p>○増田まんが美術館          マンガ家矢口高雄氏の提案がきっかけ増田町の時代          自らの作品の原画、所有資料を全て寄付し自らの名義          ではなく増田町まんが美術館として1975年開館全国の          マンガ関連施設の運営モデルとして評価されその保存技術          においても国内トップレベル          矢口作品に「たけなす」県内の作家の作品(高橋おじろ、倉田おし          きく、正太など)を展示しているのが最大の特色!!          原画の枚数は20万枚以上、又収集作家の作品を中心に          約2万5000冊が読み放題。700円程度で対応しリテラシーは低          入場料無料。(特別企画展は有料)</p> <p>○青葉区中央市民センター)資料の通り</p> <p>○石ノ森萬画館          米館蔵の6割は仙台圏域内蔵2割、東北(割)と他(割)          外国人の観光客は少ない(大人200円)</p>	

4	概要及び調査結果	<p>○石ノ森萬画館      石巻市の中心市街地活性化の起爆剤としてマンカシューゾ      アムを建設(萬画館は公設民営)      施設の運営は民間企業(アミセクター=指定管理者      行政からの出向は一切なし (街&gt;クリマ&gt;ボ&gt;)      運営母体がプロダクションと権利所有企業と、いかに友好的関係を築く事ができかが鍵となる。      年間総来館者数17万人(昨年が8万6千人)      指定管理料は6,000万円(ほぼ1件費)      入場料収入は3,600万円、      グッズ売上は6,000万円(コロナ前1億)      喫茶部門は700~800万円      支出に掛かると経費が約1億      産業振興、萬画館を中心に関係人口、交流人口を増やし、地域経済を活性化させる街&gt;クリマ会社としては単に萬画館への来館者増を目標とする目的ではなく、いかに街の魅力を回復し、元々の施設やお店に足を運んでいただく。また地域のネットワークを交流していただくが社内KPIにもなっている。(萬画館の運営として街づくりの両輪あり、ここを初めて作り出す街&gt;クリマ会社街&gt;クリマ&gt;ボ&gt;として石ノ森プロと著作権料は直接契約、作成するグッズについては基本的に萬画館内の取扱表に基づき新たに板権料を減免(50%)している。</p>
5	所感	<p>○増田まんなが美術館      提案者、矢口高雄氏の自伝がきっかけ、これはよく、日本のマが原画をマに集め美術館を作るべき、日本のマが文化として必ず世界から認められるべき、思えば、提案した点、と言います矢口氏はリニエーションしたまんなが美術館を見て自分の名前を冠した(矢口高雄記念館)ではないかと、よく考えた。よく考えた。その後矢口氏の孝子に賛同して美術館を原画を複製してこれ作家がとんど増え、原画は貴重で文化財を保護する施設として生かされていく。また、矢口作品を始め他の増田まんなが家の共通点はストーリーの中で自分の育った環境(風景や暮らし)育った時代、周りの人達への情や道徳感などから原点、矢口作品は故郷を見事な表現で東北の山々、地元の四季は本物の景色を見よ、故郷を感じ、高橋まんなが氏は語っています。      外国人観光客に頼るのではなく、県内の住民の共感を導くことが成功に繋がるといえるようです。</p>